

第53回肺の健康世界会議

秩父宮妃記念結核予防世界賞 授賞式における総裁のおことば（和訳）



この度、秩父宮妃記念結核予防世界賞を贈呈できますことを、大変うれしく思います。また、ユニオンには、公益財団法人結核予防会の活動に長年にわたり協力いただき、感謝いたします。

本年の受賞者であるマオ・タン・イエン医師は、カンボジアの国家結核プログラムを牽引し、10年間で結核罹患率を半分以下に削減されました。

その成功の重要な要因の一つとして、DOTSを全国の医療現場に拡大したことが挙げられます。これを短期間で達成するために、マオ・タン・イエン医師は、明確な政策を確立し、科学的調査・研究に基づくガイドラインを策定され、必要な予算の調達、他の組織との協力強化、人材育成に努められました。医師とその同僚の方々によって研修を受けた人々が、各地のスタッフの研修に携わることによって、医師の志と必要な技能が地域のヘルスセンターで働く一人一人のスタッフに伝えられたことは、特筆に値します。マオ・タン・イエン医師はまた、地域のDOTSを実施するための女性ボランティアの参加を促し育成して、女性たちの力を高めることに尽力されました。

マオ・タン・イエン医師、どうぞお元気で、これからも結核対策を進め、カンボジアと世界の人々の健康増進に貢献していただきますようお願いしております。

結核予防会とユニオンを代表して、カンボジアの結核予防と治療水準向上に大きく貢献されたマオ・タン・イエン医師に2022年秩父宮妃記念結核予防世界賞を贈呈いたします。

おめでとうございます。

注: DOTS (Directly Observed Treatment Short Course)とは、患者が薬を確実に飲むよう確認するなど、結核を確実に治療し薬剤耐性菌ができないようにする方策。